

～ 食と緑が支える豊かな暮らしをめざして ～

# 食と緑の豊田加茂地域レポート 2023

— 2022 年度の実績報告 —



2023年7月

豊田加茂農林水産事務所



レポート中、「豊田加茂農林水産事務所の管内（豊田市、みよし市）」は「管内」としました。「農業協同組合」は「農協」としましたが、固有名称については「JA」と表記しました。

単位は、下記の表記としました。

「長さ」・・・メートル「m」、キロメートル「km」

「面積」・・・アール「a」、ヘクタール「ha」、  
平方メートル「m<sup>2</sup>」、平方キロメートル「km<sup>2</sup>」

「体積」・・・立方メートル「m<sup>3</sup>」

「重さ」・・・キログラム「kg」、トン「t」

---

# 目 次

---

I 食と緑の地域レポート 作成の趣旨	2
II 豊田加茂地域重点推進プランの施策体系図	3
III 2022年度の重点的な取組	
① 新規就農者の確保	4
② 効率的な森林整備を担い得る技術者の確保・育成	5
③ 戦略を推進する新たな取組と拡充	6
④ 新技術及び優良品種・品目の導入	7
⑤ 施設の更新整備と耕作放棄地の適切な保全	8
⑥ 高性能林業機械による木材生産量	9
⑦ 林道整備・保全延長	10
⑧ 街道事業者の取組内容の紹介等	11
⑨ あいち森と緑づくり事業（里山林整備）実施箇所における地域住民等による 森林保全活動	12
⑩ 小中学生等による体験放流を通じた河川への理解醸成	13
⑪ 農業用排水機場・排水路・ため池の耐震化等により守られる面積	14
⑫ 枝下用水幹線水路の耐震化により守られる面積	15
⑬ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が図られる面積	16
IV 重点的な取組の目標達成状況	17
＜ 地域トピックス ＞	
○ 産地戦略による「とよた茶」の生産力パワーアップを図りました	18
○ 着果性に優れたスイカ新品種の特性を調査しました	19
○ 農業農村整備事業のPR活動を行いました	20
○ 豊田商工会議所のロビー内装木質化を支援しました	21
○ 「47災害から50年」治山事業による森林復旧の歩みをPRしました	22

---

## I 食と緑の地域レポート 作成の趣旨

---

愛知県では、2004年4月に「食と緑が支える県民の豊かなくらしづくり条例」を施行し、県民との協働・連携に努めながら、安全で良質な農林水産物の持続的な生産と供給の確保及び森林等の多面的機能に対する県民の理解と活動の促進に関する様々な施策に取り組んできました。

また、2020年12月には本条例の実現に向け、第4期の計画となる「食と緑の基本計画2025」を策定・公表しましたが、豊田加茂地域においても地域の特色や実情を踏まえ、2025年度までの目標とその目標達成のための取組等を明らかにした「食と緑の基本計画2025豊田加茂地域重点推進プラン」を作成し、この計画の実現に向けて各施策を総合的かつ計画的に推進しています。

この地域レポートは、計画の進行管理の一つとして、地域推進プランに掲げる施策目標の達成状況を把握し、プランの構想を実現するための今後の取組方法等について関係者の共通認識を深めるとともに、各種事業を推進するに当たって、地域の実情を踏まえた有効かつ適切な事業調整を進めるための資料として、2022（令和4）年度の対応状況を中心に取りまとめたものです。

## Ⅱ 豊田加茂地域重点推進プランの施策体系図

### 「食と緑が支える県民の豊かな暮らし」の実現に向けて

#### 柱1 持続的に発展する農林水産業の実現

- (1) 担い手の確保・育成
  - ① 新規就農者の確保
  - ② 効率的な森林整備を担い得る技術者の確保・育成
- (2) 産地戦略による生産力パワーアップ
  - ③ 戦略を推進する新たな取組と拡充
  - ④ 新技術及び優良品種・品目の導入
- (3) 農業基盤整備と地域営農の推進
  - ⑤ 施設の更新整備と耕作放棄地の適切な保全
- (4) 資源を生かす林業の実現
  - ⑥ 高性能林業機械による木材生産量
  - ⑦ 林道整備・保全延長

#### 柱2 農林水産の恵みを共有する社会の実現

- (5) 活力ある農山村の実現
  - ⑧ 街道事業者の取組内容の紹介等
  - ⑨ あいち森と緑づくり事業（里山林整備）実施箇所における地域住民等による森林保全活動
  - ⑩ 小中学生等による体験放流を通じた河川への理解醸成
- (6) 農山村の防災・減災対策の推進
  - ⑪ 農業用排水機場・排水路・ため池の耐震化等により守られる面積
  - ⑫ 枝下用水幹線水路の耐震化により守られる面積
  - ⑬ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が図られる面積

## Ⅲ 2022年度の重点的な取組

### 1 持続的に発展する農林水産業の実現

#### (1) 担い手の確保・育成



#### ① 新規就農者の確保

農業改良普及課

#### 【施策の趣旨】

将来にわたって農産物を安定的に供給できる農業構造を実現するため、農家の後継者を始め、農業法人への雇用就農や定年帰農を含む新規就農、企業やNPOの農業参入により新しい担い手を幅広く確保し、定着させる必要があります。

#### 【具体的な取組内容】

就農説明会を6月に開催し、14人の参加がありました。また、豊田加茂地域への新規就農希望者32人から就農についての個別相談が寄せられ、延べ44回対応しました。

これらを通して就農が具体化した45歳未満の10人に、栽培品目ごとの収量や販売単価等の情報を提供するなど相談を重ねて、青年等就農計画の作成を支援しました。また、豊田市、みよし市の農業研修機関の運営を支援しました。



就農説明会

#### 【取組の成果】

新規就農者数： 14人

農業改良普及課が実施した集団や個別での就農相談、青年等就農計画の作成支援等を通して、就農しました。

就農形態・年齢別内訳			単位：人
就農形態/年齢	45歳未満	45歳以上 65歳未満	合計
新規学卒	0	0	0
Uターン	1	2	3
新規参入	6	5	11
(独立自営)	3	5	8
(雇用就農)	3	0	3
合計	7	7	14

住所別内訳	
住所地	人数
豊田市	13
みよし市	0
その他	1
合計	14

#### 【今後の取組】

引き続き、市や農協等と連携しながら、個別相談を中心とした新規就農希望者の計画的就農を支援します。

## ② 効率的な森林整備を担い得る技術者の確保・育成

森林整備課

### 【施策の趣旨】

本格的な利用期を迎えた森林資源を活用し、今後増加が見込まれる木材需要に対応するため、林業を担う人材の確保と林業技術者の育成を進めます。

### 【具体的な取組内容】

林業を担う人材の確保のため、愛知県林業労働力確保支援センター等と連携して、一般の方を対象とした林業の仕事ガイダンスと林業作業見学ツアーを各1回（延べ23人）実施しました。

また、林業高校生を対象とし、木材生産体験と見学会を各1回（延べ40人）実施しました。

この他、林業経営体の林業技術者の育成のために、地形データ等の活用支援や植栽研修、安全作業の順守のため、巡回指導等を延べ43回実施しました。



木材生産体験



若手作業員に対する植栽研修

### 【取組の成果】

新規林業就業者数：16人

就業形態・年齢別内訳			単位：人
就業形態／年齢	45歳未満	45歳以上	合計
新規学卒	7	0	7
再就職	8	1	9
合計	15	1	16

出身住所別内訳	
出身住所地	人数
豊田市	6
みよし市	1
県内（管外）	6
県外からのI・Uターン	3
合計	16

### 【今後の取組】

引き続き、関係機関と連携して、新規林業就業者の確保に努めるとともに、林業技術者の育成や安全作業の定着に取り組めます。

## (2) 産地戦略による生産力パワーアップ



### ③ 戦略を推進する新たな取組と拡充

農政課

#### 【施策の趣旨】

高齢化による担い手不足などの課題をもつ産地において、「人」、「農地」、「生産技術」、「施設等」、「販売」の5つの視点から産地戦略を作成しており、関係機関と連携し、補助事業の活用等を通じて、目標達成に向けた具体的な取組を推進し、産地の維持・発展を図ります。

No.	品目	産地	策定年度	目標年度
1	なす	豊田市・みよし市	2022	2025
2	はくさい	豊田市・みよし市	2022	2026
3	桃・梨・柿	豊田市	2019	2023
4	いちご	豊田市	2019	2023
5	茶	豊田市	2019	2023
6	水稻・麦・大豆	豊田市 (平坦部)	2020	2024
7	水稻・麦	みよし市	2020	2024

#### 【具体的な取組内容】

- 1 補助事業による産地戦略の取組支援
  - ・4産地の支援を行いました。
- 2 新たな戦略策定と既存戦略の見直し
  - ・部門別会議及び全体会議により、水稻・麦・大豆（豊田市）の産地戦略の見直し案（飼料作物を追加）作成を支援するとともに、全産地の進捗状況を確認しました。

#### 【取組の成果】

- 1 補助事業による産地戦略の取組支援（4産地）
  - (1) いちご
    - ・あいち型産地パワーアップ事業（ハウスの建設、自動カーテン、溶存酸素供給装置の導入）
  - (2) 桃・梨・柿
    - ・あいち型産地パワーアップ事業（スピートスプレーの導入、かん水の自動化）
  - (3) 茶
    - ・あいち型産地パワーアップ事業（ボイラーの導入）
    - ・農業生産力強化支援事業（品質向上を目指した被覆方法の実証）
  - (4) 水稻・麦（みよし市）
    - ・水田麦・大豆産地生産性向上事業（コンバイン2台等の導入、ドローンによる生産省力化）
    - ・国産小麦産地生産性向上事業（ドローンによる生産省力化）
- 2 新たな戦略策定と既存戦略の見直し（2産地）
  - ・2産地（なす、はくさい）において、産地戦略が見直しされました。



産地に導入されたコンバイン

#### 【今後の取組】

引き続き、生産者（組織）、地域農業再生協議会、農協、市と連携し、会議等の開催により補助事業の活用や具体的な取組への支援を積極的に行っていきます。



## 【施策の趣旨】

ロボット技術やICT（情報通信技術）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現できる技術の選定と導入を支援します。

野菜、果樹等では気候変動や消費者ニーズに対応できる優良品種、花きでは経営の主体であるシンビジウムに労力面で組み合わせやすい優良品目の選定と導入を支援します。



リモコン式自走草刈り機（茶畑法面）

## 【具体的な取組内容】

アシストスーツ、ドローンによる栽培管理、リモコン式自走草刈り機等の新技術の導入を検討しました。

スイカ栽培では、着果性の優れた新品種の導入を検討しました。

花きでは、シンビジウム栽培の労力に余裕のある時期に栽培できる品目として観葉植物の「ディスクディア」の導入を検討しました。

ナシ栽培では、夏期の高温により果肉障害が発生する「新高」に替えて導入を進めている「甘太<sup>かんた</sup>」について、外観がきれいに仕上がる果実袋の選定支援を行いました。



観葉植物の「ディスクディア」

## 【取組の成果】

リモコン式自走草刈り機が4台（水田作1台、茶3台）導入されました。

スイカ栽培では、新品種が既存品種より着果性が良好であることが明らかになったため、2023年作から導入されることになりました。

ナシ<sup>かんた</sup>「甘太」では、外観がきれいに仕上がる果実袋が決まり、産地で本格活用されることが決まりました。

ナシ「甘太<sup>かんた</sup>」の果実

## 【今後の取組】

引き続き、新技術及び優良品種・品目の導入に向けて現地実証と栽培指導を行います。

### (3) 農業基盤整備と地域営農の推進



#### ⑤ 施設の更新整備と耕作放棄地の適切な保全

建設課

#### 【施策の趣旨】

担い手への農地の集積・集約化や生産コストの削減を促進するため、生産性の向上を図る農地の整備を推進するとともに、将来にわたって耕作放棄地の拡大防止を図り、農地の生産性を維持するため、農業水利施設などの適期、適切な整備・更新を推進します。

#### 【具体的な取組内容】

農地環境整備事業つくば地区・下山地区・大野瀬地区の3地区では、老朽化した農業水利施設（用水路・排水路）の整備・更新、暗渠排水等の工事及び設計を行いました。

また、農地環境整備事業西中山地区が新たに事業採択されました。

#### 【取組の成果】

新たに農地環境整備事業西中山地区（受益面積29ha）が2022年4月に採択され、整備着手に向け、土地改良法に基づく手続きを進めました。

#### 【今後の取組】

引き続き、実施中の地区の完了に向けて、土地改良区や地元工区等の関係者と調整しながら事業を推進し、農業生産基盤の整備工事を行っていきます。



工事前の排水路  
（下山地区）



工事により排水能力が向上した排水路  
（下山地区）

## (4) 資源を生かす林業の実現



### ⑥ 高性能林業機械による木材生産量

森林整備課

#### 【施策の趣旨】

高性能林業機械を活用した木材生産の効率化に取り組み、木材の安定供給を推進します。

#### 【具体的な取組内容】

木材生産の効率化の前提となる施業の集約化のために、森林組合等が行う森林経営計画の策定を支援しました。

(計画策定面積：1,385ha)

林業経営体による高性能林業機械の導入や更新の支援を行うとともに、木材生産現場における効率的な運用を指導しました。

(導入：プロセッサ、スイングヤーダ、フォワーダ各1台、更新：プロセッサ、フォワーダ各1台)

また、利用期を迎えた森林資源を活用するため、「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業に必要な新たな植栽と獣害対策に対して助成(あいち森と緑づくり事業)を行いました。(12ha)



フォワーダによる木材積込み状況

#### 【取組の成果】

高性能林業機械による木材生産量 35,700 m<sup>3</sup>

#### 【今後の取組】

引き続き、林業経営体が行う、木材の生産性を高める取組に対して、支援・指導を継続します。

管内林業事業体の保有する高性能林業機械(2022年度末時点)						単位：台
機種名/事業体	豊田森林組合	(株)緑豊	丸兼林業(有)	(株)佐合木材※	西垣林業フォレスト(株)※	計
スイングヤーダ	4	2	2	1	1	10
タワーヤーダ	0	0	0	0	0	0
ハーベスタ	0	1	0	1	0	2
プロセッサ	6	1	1	1	1	10
フォワーダ	6	1	1	1	1	10
フェラーバンチャ	1	1	1	1	0	4
計	17	6	5	5	3	36

※愛知県内の稼働機械数

## 【施策の趣旨】

木材生産や間伐等の森林整備を効率的に実施するため、林道を整備・保全します。

## 【具体的な取組内容】

県営事業による林道開設を行うとともに、豊田市が行う開設・改良・舗装工事に対し、単独県費補助事業により支援しました。

県営の代行林道事業は「たひらさわひらせせん田平沢平瀬線」と「かしょうぜかしわぼらせん河上瀬柏洞線」の2路線において、開設工事を進めました。

また、豊田市が事業主体となり実施する単独県費補助の小規模林道事業は12路線に対し補助金を交付しました。

## 【取組の成果】

林道の整備・保全延長 4,680m

(内訳：開設413m 改良798m 舗装3,469m)

## 【今後の取組】

引き続き、木材生産や間伐等の森林整備の効率化を図るため、林道の整備・保全を推進します。



改良工事による法面保護



走行の安全を高める舗装

## 2 農林水産の恵みを共有する社会の実現

### (5) 活力ある農山村の実現



#### ⑧ 街道事業者の取組内容の紹介等

農政課

#### 【施策の趣旨】

「食と花の街道認定事業」の認定を受け、事務所管内で活動している「とよた五平餅街道」と「いなぶジビエグルメ街道」の事業者について、店舗等を取材し、その情報を事務所 web ページに掲載し、地域の魅力を広く発信していきます。

#### 【具体的な取組内容】

「とよた五平餅街道」と「いなぶジビエグルメ街道」の店舗を取材し、その情報を事務所 web ページに掲載しました。



中乃屋の五平餅

#### 【取組の成果】

6店舗を取材し、その情報を事務所 web ページに掲載しました。

- ・とよた五平餅街道 4店舗
- ・いなぶジビエグルメ街道 3店舗

(注) 1店舗は、2つの街道に参加しているため、取材店舗数より紹介店舗数が多い。



どんぐりキッチンのローストシカ丼

#### 【今後の取組】

引き続き、街道事業者の店舗等を取材し、その情報を、事務所の web ページに掲載し、地域の魅力を広く発信していきます。



「食と花の街道認定事業」は  
「いいともあいち運動」活動の一環です



web ページへは、二次元コード又は以下の URL から御覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toyotakamo-nourin/syokuhanatoyotakamo.html>

## ⑨ あいち森と緑づくり事業（里山林整備）実施箇所における地域住民等による森林保全活動

林務課

### 【施策の趣旨】

県土や自然環境の保全、水源の涵養、洪水の防止などの森林が有する多面的機能を十分に発揮させるため、地域住民等による森林の保全活動を推進します。

### 【具体的な取組内容】

あいち森と緑づくり事業（里山林整備）により、森林の持つ多面的機能の発揮に向けた取組（間伐、管理道整備）を支援しました。

同事業実施地においては、地元説明会・現地検討会（計3回）に参加し、事業実施後の里山林の保全活動の大切さを説明・助言をすることにより、地域住民等の理解促進に努めました。

### 【取組の成果】

地域住民等による森林の保全活動面積：40ha

（内訳）2021年度までの、あいち森と緑づくり事業地での保全活動面積 39ha

2022年度から、同事業地での活動を開始した保全活動面積 1ha

### 【今後の取組】

引き続き、説明会などを通して、地域住民等による森林の保全活動を推進します。



地域住民・学識経験者らによる現地検討会



地域住民らによる森林の保全活動  
（間伐材をしいたけ原木に活用）

**【施策の趣旨】**

漁獲量の減少やレジャーの多様化などによる遊漁離れが叫ばれる中、小中学生を対象に体験放流を行うことで、河川や魚類へ関心を持ってもらうとともに、正しい知識を普及します。

**【具体的な取組内容】**

管内の漁業協同組合が主催する小学生を対象とした稚あゆ、あまごの体験放流会の時期や内容について助言を行い、併せて体験放流会時に出前授業（あゆの生態等を紹介）を実施しました。



あゆを放流する子どもたち

**【取組の成果】**

体験放流会は3漁協（名倉川漁協・矢作川漁協・巴川漁協）で4月から10月にかけて9回実施され、小学生延べ195人が参加しました。



出前授業の様子

**【今後の取組】**

引き続き、漁協が開催する体験放流会を支援し、参加した小学生が河川への理解醸成、魚類への関心を高められるように助言・提案を行っていきます。



放流するあまごの観察をする様子

## (6) 農山村の防災・減災対策の推進



### ⑪ 農業用排水機場・排水路・ため池の耐震化等により守られる面積

建設課

#### 【施策の趣旨】

巨大地震や集中豪雨等による自然災害から県土や県民の暮らしを守るため、農村地域の防災・減災対策を推進します。

#### 【具体的な取組内容】

たん水防除事業では、上郷2期地区で排水機場の更新整備を実施し、1地区で2023年度新規採択に向けて計画策定を行いました。

防災ダム事業では、八木池上・下池地区始め6地区のため池の耐震化工事等を行い、1地区が完了し、新規2地区で工事に向けての詳細設計及び地域の関係者との調整を行いました。また、2地区で2023年度採択に向けて計画策定を行いました。

老朽ため池等整備事業及び緊急農地防災事業（老朽ため池整備）では、2地区の改修工事を行い、<sup>ほんじしん</sup>本地新池地区が完了しました。



堤体の整備工事の状況(池の内側)  
(老朽ため池等整備事業 本地新池地区)

#### 【取組の成果】

洪水や地震被害のリスクから守られた地域の

面積：34ha（2022年度完了）

防災ダム事業 <sup>わだがいけ</sup>和田ヶ池地区 25ha

老朽ため池等整備地区 <sup>ほんじしんいけ</sup>本地新池地区 9ha

#### 【今後の取組】

実施中の地区では、引き続き市や土地改良区等関係者と調整しながら事業を推進し、耐震化等の整備を行っていきます。



工事が完了した堤体  
(老朽ため池等整備事業 本地新池地区)



## ⑫ 枝下用水幹線水路の耐震化により守られる面積

建設課

### 【施策の趣旨】

巨大地震による枝下用水幹線水路の被災に伴う二次災害から県土や県民の暮らしを守り、農業用水の安定的な供給を図るため、枝下用水幹線水路の震災対策を推進します。

### 【具体的な取組内容】

震災対策農業水利施設整備事業枝下用水地区及び枝下用水2期地区で用水路の耐震構造への全面改修工事を実施しました。

また、枝下用水地区では、高盛土部の地盤改良による耐震化工事を併せて実施しました。



改修工事中の枝下用水幹線水路  
(枝下用水地区)

### 【取組の成果】

巨大地震による枝下用水幹線水路の被災に伴う二次災害の被災リスクから守られた地域の

面積： 60ha

枝下用水地区 42ha

枝下用水2期地区 18ha



耐震化工事を実施した枝下用水幹線水路  
(枝下用水2期地区)

### 【今後の取組】

引き続き、市及び土地改良区並びに地域住民等の関係者と調整しながら事業を推進し、枝下用水幹線水路の耐震化を行っていきます。

## ⑬ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が図られる面積

森林整備課

### 【施策の趣旨】

巨大地震や集中豪雨等による自然災害から県土や県民の暮らしを守るため、農山村地域の防災・減災対策を推進します。

### 【具体的な取組内容】

土砂の流出や山崩れなどの山地災害の復旧と予防を目的とし、荒廃溪流へは治山ダムを設置し、山腹崩壊地へは土留工等の山腹工事を実施するなど、20か所で治山施設を整備しました。

### 【取組の成果】

山地災害に対する防災機能向上が  
図られた面積 114ha（20か所）

（内訳）公共事業 102ha（7か所）

単県事業 12ha（13か所）



荒廃溪流に設置した治山ダム

### 【今後の取組】

今後も、山地災害の危険性が高い箇所について、治山工事を計画的に実施します。



人家裏の山腹に施工した法枠工

## IV 重点的な取組の目標達成状況

### 柱1 持続的に発展する農林水産業の実現

施策項目	重点的な取組	2025 目標数値 (※累計値)	2021	2022	2023	2024	2025
			実績の推移 (目標数値が累計値の項目は累計値、括弧書きは単年度実績)				
(1) 担い手の確保・育成	① 新規就農者の確保	毎年 15人	23	14			
	② 効率的な森林整備を担い得る技術者の確保・育成	毎年 12人	18	16			
(2) 産地戦略による生産力 パワーアップ	③ 戦略を推進する新たな取組と拡充	※ 5年間で 10件	4	(6) 10			
	④ 新技術及び優良品種・品目の導入	※ 5年間で 4件	2	(3) 5			
(3) 農業基盤整備と地域営農の推進	⑤ 施設の更新整備と耕作放棄地の適切な保全	※ 5年間で 59ha	0	0			
(4) 資源を生かす林業の実現	⑥ 高性能林業機械による木材生産量	5年後に 40千m <sup>3</sup>	38,640	35,700			
	⑦ 林道整備・保全延長	毎年 3,100m	3,395	4,680			

### 柱2 農林水産の恵みを共有する社会の実現

施策項目	重点的な取組	2025 目標数値 (※累計値)	2021	2022	2023	2024	2025
			実績の推移 (目標数値が累計値の項目は累計値、括弧書きは単年度実績)				
(5) 活力ある農山村の実現	⑧ 街道事業者の取組内容の紹介等	※ 5年間で 30箇所	8	(7) 15			
	⑨ あいち森と緑づくり事業（里山林整備）実施箇所における地域住民等による森林保全活動	※ 5年後に 43ha	39	(1) 40			
	⑩ 小中学生等による体験放流を通じた河川への理解醸成	※ 5年間で 30回	7	(9) 16			
(6) 農山村の防災・減災対策の推進	⑪ 農業用排水機場・排水路・ため池の耐震化等により守られる面積	※ 5年間で 451ha	55	(34) 89			
	⑫ 枝下用水幹線水路の耐震化により守られる面積	※ 5年間で 231ha	108	(60) 168			
	⑬ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が図られる面積	毎年 127ha	114	114			

### 産地戦略による「とよた茶」の生産力パワーアップを図りました 農政課

#### 【取組の趣旨】

豊田市の茶産地が抱える様々な課題の解決に向けて、「人」、「農地」、「生産技術」、「施設等」、「販売」の5つの視点から2019年度に豊田市地域農業再生協議会が産地戦略を策定しました。

2022年度には、農業者、地域農業再生協議会、農協及び市と連携し、会議の開催や補助事業の活用等を通じて、産地戦略の目標達成に向けた具体的な取組を推進し、産地の維持・発展を図りました。

#### 【取組内容】

主な取組は次のとおりです。

##### ○第1回会議（2022年7月7日）

2022年度の目標達成に向けた取組内容、2023年度補助事業の活用及び「とよた茶」応援セットの販売等について検討しました。

##### ○アンケートの実施（8月、11月の2回）

農業者に対し、とよた茶の課題解決に向けた意見調査を行い、関心度の高い課題や今後の取組意向を把握しました。

##### ○第2回会議（2023年2月22日）

産地戦略の目標進捗状況と補助事業を活用した被覆資材の実証結果を報告しました。また、6名の茶農家と関係機関で、産地が抱える課題解決に向けて活発な意見交換が行われました。

#### 【今後の展開】

2023年度は産地戦略を策定して5年目の目標年度に当たるため、関係機関と連携し、既存戦略の目標達成状況の取りまとめ及び見直しを行うとともに、補助事業の活用等により、生産性の向上を図ります。



会議の様子(2023年2月22日開催)

### 着果性に優れたスイカ新品種の特性を調査しました

農業改良普及課

#### 【取組の趣旨】

J Aあいち豊田猿投西瓜部会ではビニルトンネルでスイカを栽培していますが、2021年作は交配時期に低温による雌花の花質や花粉稔性の低下、ミツバチの訪花活動の不安定等が複合的に重なって着果が不安定になり、減収となりました。一方、既存品種を開発・販売する種苗会社が着果性に優れたスイカの新品種を育成しました。同部会は2022年作に試験栽培に取り組み、農業改良普及課は新品種の特性を明らかにするために現地調査や果実品質調査を支援しました。

#### 【取組内容】

現地調査の結果、新品種は既存品種に比べて雌花の数、着果数が多く、着果性（約1.6倍）に優れていることが分かりました。また、果実品質調査の結果、新品種は既存品種より甘み、シャリ感が若干少ないものの、肉質や食味は良好で商品性は十分高いと考えられました。同部会は、試験栽培の結果や高い市場評価が得られたことを踏まえて、2023年作から4月交配の作型に限り新品種を導入することが決まりました。

交配後における1株当たりの雌花の着果状況（調査日：5月2日、摘果前、4本整枝2果どり）

試験区	雌花3番花				雌花4番花				雌花5番花				有効雌 花合計 (a+b+c)
	平均着 果節位 (a)	○	×	▼	平均着 果節位 (b)	○	×	▼	平均着 果節位 (c)	○	×	▼	
既存品種	21.0	1.4	0.0	0.0	26.2	2.2	0.0	0.4	29.0	0.2	0.0	0.0	3.8
新品種	22.6	2.0	0.0	0.0	27.1	3.6	0.0	0.4	30.5	0.6	0.0	0.2	6.2

凡例の補足 ○：着果し、摘果せずに残してある。×：着果せず、生理落果した。▼：着果し、摘果していないが、肥大が止まっている。

#### 【今後の展開】

2023年作では、新品種の収量性など、既存品種との差異を明らかにするために、同部会と連携して現地調査等の取組を支援します。



着果性に優れたスイカ新品種の幼果

### 農業農村整備事業のPR活動を行いました

建設課

#### 【取組の趣旨】

農地や農業用水、農業農村整備事業等の役割や効果等について、県民の皆様の理解を深めてもらうために関係団体等と連携し、以前よりPR活動を行っています。

農業農村整備事業を実施する必要性を農家や担い手だけではなく、地域住民にも理解してもらえるようにします。

#### 【取組内容】

6月10日の上郷排水機場における現地学習会を始め管内で行われているイベント時に、多面的機能を維持するための活動紹介や枝下用水の震災対策事業の説明に関するパネル展示等のPR活動を行い、地域住民へ農業農村整備事業の啓発を行いました。



上郷排水機場での現地学習会

実施日	場所	内容	イベント名等（参加者数）
6月10日	上郷排水機場	排水機場見学・工事説明	現地学習会（畝部小学校40人）
9月18日	千足公園	パネル展示	矢作川感謝祭（200人）
10月1日	エコフルタウン	パネル展示	マルシェ（200人）
10月15日	三河湖	パネル展示	三河湖ウォーキング（223人）
2月4日	スカイホール	パネル展示・映像	防災フェスタ（100人）
3月5日	スカイホール	パネル展示	Weloveとよたフェスタ（150人）

また、平野部、丘陵地、中山間地域の特色のある農業や事業によって整備された農業用水、大区画化されたほ場等をPRする動画を作成し、webで公開しています。

右の二次元コードを読み取っていただくか、YouTubeで「豊田加茂 NN事業」と検索いただき、ぜひ動画を御覧ください。



#### 【今後の展開】

昨年度までは、新型コロナウイルスの影響により、PR活動の機会が少なくなりましたが、本年度はイベントでのパネル展示だけではなく、小学校等への出前授業などの企画を計画しています。

### 豊田商工会議所のロビー内装木質化を支援しました

林務課

#### 【取組の趣旨】

本県では、スギ・ヒノキの人工林の多くが、建築用材として利用される利用期を迎えており、カーボンニュートラル社会の実現やSDGsの目標を達成するためにも、充実した森林資源を活用して「伐(き)る・使う→植える→育てる」の循環型林業を進めることが重要です。このことから、本県では、木材利用の意義や木材の優れた特性を事業者や県民の皆様<sup>まち</sup>に理解していただき、県産木材を積極的に利用していただくため、民間建築物における木材利用の促進に取り組んでいます。

今回、「木の香る都市づくり事業」により、豊田商工会議所のロビー内装木質化を支援しました。

#### 【取組内容】

ロビーには、あいち認証材を使用した壁面展示棚の施工や、展示台、柱周り展示棚、木製テーブルや木製パーティションが導入されました。(木材使用量2.9 m<sup>3</sup>)

この木質化されたロビーを当会議所に所属する約7千の会員が利用することで、今後、各事業所における木材利用が期待できます。



ロビーの壁面展示棚等



柱周り展示棚



のぼり旗の掲示

#### 【今後の展開】

各会員に毎月配布される会報誌等にも今回の取組内容や、木の香る都市づくり事業について掲載していくとのことで、これを機に豊田市内において、あいち認証材利用が広がっていくことが期待できます。

### 「47災害から50年」治山事業による森林復旧の歩みをPRしました

森林整備課

#### 【取組の趣旨】

イベント「とよた防災フェスタ」（豊田市主催）で、治山事業による森林復旧の歩みをPRしました。

#### 【取組内容】

昭和47年（1972年）7月の集中豪雨により、旧小原村を中心に洪水及び土砂災害で多くの命と家屋が失われました。2022年はこの47災害から50年の節目にあたります。

そこで、2023年2月4日に豊田市内のスカイホール豊田にて開催された「～47災害から50年 とよたで学ぼうさい!～とよた防災フェスタ」で、森林整備課として出展を行い、県民の方へ治山事業による災害復旧についてPRを実施しました。

○出展名：47災害からの復旧ー治山事業施工地の今

○展示内容：治山事業施工地の復旧状況をパネル及び映像で展示

航空レーザ計測映像の展示

施工地に植栽したヒノキの成長が判る輪切を展示

○来場者：250人



治山ブース



ブースへの来場者

#### 【今後の展開】

梅雨時期前に山地災害防止キャンペーンを展開し、地域住民への山地災害危険地区の周知や山地災害に備える広報活動などを実施します。





いいともあいち運動のシンボルマーク

愛称は **あいまる** です！



## 食と緑の豊田加茂地域レポート2023

愛知県豊田加茂農林水産事務所農政課  
〒471-8566 豊田市元城町4-45 豊田加茂総合庁舎内  
電話:0565-32-7363(内線340)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toyotakamo-nourin/>